

USBメモリを経由するウイルスに注意！

取扱いが簡単でデータの保存、移動などに便利なUSBメモリは、多くの方が色々な場面で使われている反面、USBメモリを媒介して拡散するウイルスが確認されています。パソコンにUSBメモリを接続しただけで感染するウイルスもあり、注意が必要です。

①感染

②被害の拡散

【パソコンからUSBメモリに感染】

1. USBメモリを感染パソコンに接続



3. 不正なautorun.infが作成

作成された不正な autorun.inf
コピーされたウイルス

2. ウイルスがUSBメモリにコピー

感染したパソコンにUSBメモリを使用することで感染

【USBメモリからパソコンに感染】

1. 感染USBメモリをパソコンに接続



2. ウイルスが実行

不正な autorun.inf
ウイルス

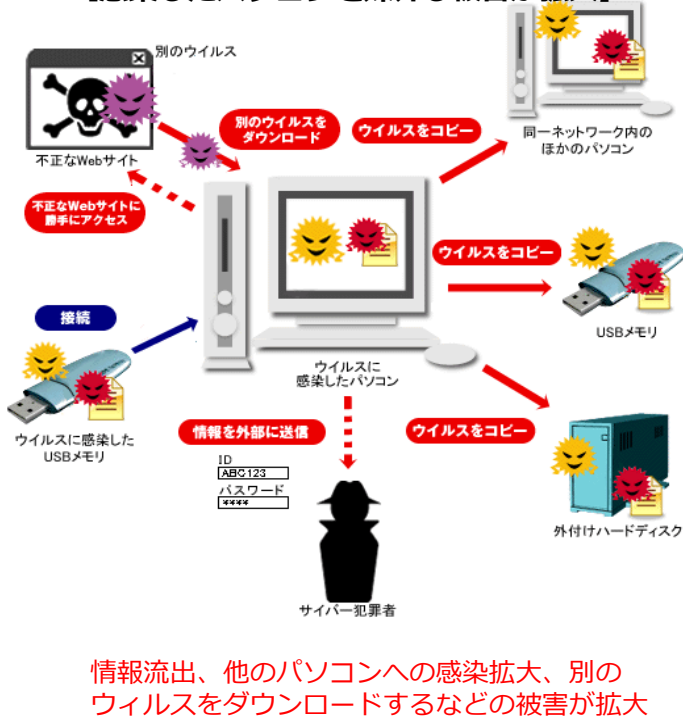
3. ウイルスがパソコンにコピー

作成された不正な autorun.inf
コピーされたウイルス

4. 不正なautorun.infが作成

感染したUSBメモリをパソコンで使用することで感染

【感染したパソコンを媒介し被害が拡大】



図は、トレンドマイクロ(株)から引用

～ 対策 ～

- ◎ セキュリティソフトが入ったパソコンでのみUSBメモリを使用する。
- ◎ USBメモリを用途ごとに使い分ける。
- ◎ 持ち主のはっきりしないUSBメモリは使わない。
- ◎ USBメモリからファイルを開く前にウイルス検索を行う。
- ◎ USBメモリの自動再生を無効化しておく。

京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク (Ksisnet)

お困りの時は!! IT 相談窓口 (公益財団法人京都産業21 お客様相談室)

相談内容：情報セキュリティ対策、情報漏えい・流出事案等
※毎週月曜日～金曜日の9:00～17:00 (祝日を除く)

TEL 075-315-8660 メールアドレス okyaku@ki21.jp

公益財団法人京都産業21 お客様相談室 (〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業支援センター内)